

12. インターネットとマルチメディア社会

「総務省 情報通信白書」 <http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/ja/h19/e-Japan> 戦略 (2001年) 「2005年までに世界最先端のIT国家となる」
u-Japan 政策 (2004年) 「ユビキタス社会の実現—いつでも、どこでも、誰でも、何でも」

(1) インターネットの普及状況

日本のインターネット人口 _____万人 (普及率 _____%)

世界のインターネット人口 _____万人 (普及率 _____%)

日本のブロードバンド加入者数

合計契約数 _____万件 → ADSL (_____万) CATV (_____万) FTTH (_____万)

端末別の利用人口

合計利用者 _____万人 → パソコンから (_____万) 携帯電話・PHSから (_____万)

(2) デジタルディバイド (Digital divide)

地域別格差 上位3県 東京 (_____%) 神奈川 (_____%) 千葉 (_____%)
下位3県 青森 (_____%) 高知 (_____%) 鹿児島 (_____%)

年代別格差 10~40代 (_____%) 50代 (_____%) 60代 (_____%)
年収別格差

~200万 (_____%) ~400万 (_____%) ~800万 (_____%) 800以上 (_____%)

男女別格差 男性 (_____%) 女性 (_____%)

国別格差 (_____%)の高所得国が、世界のインターネットの (_____%)を利用

(3) ビジネスへの利用 …… 電子商取引 (Electronic Commerce) → BとCの連携

B to C

C to C

B to B

(4) 変わる社会生活

① 売り方・買い方が変わる (デジタルデータの切り売り)

② 広告が変わる (インターネット広告)

- ・アドワーズ広告
- ・アドセンス広告

③ 銀行が変わる

- ・ホームバンキング
- ・インターネット銀行

④ 教育が変わる (eラーニング)

WIDE 大学 SOI (school of internet)

⑤ 生活スタイルや働き方が変わる

SOHO (Small office Home office)